

一戸建て住宅の安全対策ポイント

家の周囲にも災害が発生すると危険なところがたくさんあります。日ごろから危険箇所の点検を心がけましょう。

雨どい・雨戸

雨どいの継ぎ目がはずれていないか、落ち葉や土砂などが詰まっていないかをチェックする。雨戸はたてつけが悪くなっているかをチェックし、問題があれば修繕する。

屋根

屋根瓦やアンテナが不安定になっていないか確認し、問題がある場合は補強する。

ベランダ

整理整頓し、落下する危険がある植木鉢やエアコンの室外機は配置を換えるか固定する。

玄関まわり

自転車や植木鉢など、出入りの支障となるものは置かない。

ブロック塀

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強する。ひび割れや傾き、鉄筋のさびがある場合は修理する。

プロパンガス

倒れないように、しっかりとした土台の上に置き、鎖で壁面に固定しておく。

集合住宅の安全対策ポイント

マンションなどの集合住宅では多くの人たちが暮らしているため、一戸建て住宅とは違った防災対策が求められます。いざというときに備えて、自主防災会を中心に防災訓練や住民同士の話し合い、防災設備の点検などに取り組みしましょう。

玄関

玄関は、脱出口、避難経路として重要な場所。開かなくなった扉をこじ開けられるようにバールなどを用意しておく。



通路

避難や通行の妨げにならないように、自転車などもものを置かない。また、類焼防止のため、古新聞や段ボールなどの燃えやすいものを置かない。



非常階段・非常扉

いざというときに安全に避難できるように、通行の妨げになるようなものを置くのは厳禁。特に非常扉の前や階段付近には要注意。

